

5/11 月曜

「日銀は政府の子会社だ」

自民党の安倍晋三元首相は、日銀に対する市場を通じた国債の買入れを巡り、「日銀は政府の子会社だ」と発言した。立憲民主党など野党は、日銀の独立性、中立性の観点から問題視し、邊及を強めの様だ。議論から早速「乱暴な議論」と批判が出た。政府、自民党は夏の参院選が迫る中、具体的な論評を避け、事態の早期沈静化を図りたい考えだ。

安倍氏、国債買入れで

安倍氏の発言は、大分市の会合で飛び出した。

日本人は眞面目だから、経済対策を実施する「日本はたくさん借金しているが大丈夫か」と心配する人がいる。政府の財政を家計に例える人がいるが、大きな違いが一つある。政府は日銀と共にお金を発行できることだ。家計でそれをを行ったら偽札になる。

日銀の国債買入れを巡る安倍晋三元首相の発言要旨は次の通り。

日本人は眞面目だから、経済対策を実施する「日本はたくさん借金しているが大丈夫か」と心配する人がいる。政府の財政を家計に例える人がいるが、大きな違いが一つある。政府は日銀と共にお金を発行できることだ。家計でそれをを行ったら偽札になる。

1000兆円ある(政府の)借金の半分は、日銀が買っている。日銀は政府の子会社だ。80年の(返済)満期が来たら借り換えて構わない。何回だって借り換えていい。

世界中の中央銀行と政府の関係はそうなっている。心配する必要はない。日本の国債は今でも信認されている。金利を低い状況に保てている。自信を持ってもらわないと構わない。

安倍晋三元首相は、大分市の会合で飛び出した。安倍晋三元首相が進めた「アベノミクス」以降の経済政策を巡っては、日銀による大量の国債買入れに依存して国の借金を膨らませる手法に対し、財政規律を重視する議論が批判してきた。安倍氏の発言は、政府



大分市の会合で発言した
安倍晋三元首相

「独立性軽視乱暴な議論」

立民の西村徹奈美幹事長は十日の記者会見で、「アベノミクス」と称して異次元の金融緩和を主導した結果、今の財政、経済状況がある」と指摘。「どうとう本音が出た」とも語り、国会

が日銀を従属させる関係を積極的に唱えたもので、財政の優先が強まりそうだ。

自民党の茂木敏充幹事長は会見で、発言は承知していないとした上で、「金融政策は日銀の自主性、独立性に委ねられる」と強調。同時に「政府・与党として、金融緩和を主導した結果、多くの「火消し」に疲れた。

（略）

（略）